

# Language Laboratory において聴解力養成の 過程にあらわれたつまづきと学校英文法

——Dictation と Hearing Test の誤答分析——

月 山 み ね 子

戦後を境にして日本の英語教育の再考，改善をうながす声が教育界，実業界から提唱されて以来ずいぶん長い年月を経過してきた。21世紀を目前にしてたしかに日本における英語教育は質的転換点にきているといえる。渡部昇一氏（上智大学）は現代日本をつぎの2期にわけていられる。（英語展望 No. 32 1971）

1. 戦前一明治維新以来，富国強兵をモットーとした時期

Modern Japan as the only non-white military power.

(up to 1945)

2. 戦後一経済規模で米ソという大陸国家につき，個人所得でソ連をこえた  
今日にいたった時期

Japan as the only non-white industrial power.

(up to now)

この2期にわたる日本の英語教育の変遷を朱牟田夏雄氏（東京大学名誉教授）は下記のように説明しておられる。（英語教育評論 第4巻 第2号 1970）

「明治の初期に日本が欧米においつくために，外国文化を吸収することを目的として日本の外国語教育は出発してきた。初期には大学の講義なども外人の professor に頼るしかなかった。ところが明治中期には日本人でも professor になれる人がでてきて，日本語で全てことたりるようになり，大正期には英文学が学問として確立するようになった。これは非常に進歩であったが反面，大

学生の語学力は反比例しておとろえていった。情報化時代・国際化時代の英語教育はこれをカバーしなければならない…」

ひところ実用英語、教養英語などの言葉をよく耳にしたことがある。実用英語といえば日常会話的なものをさし、教養英語といえば文学作品などをさしていたようである。しかし「英語で話す」ということは、日常のおしゃべりだけでなく、自分の意志表示が整然とできて外国語で対等に話しあえることが必要ではないであろうか。相手の意見に駁論したり質問に対して即座に臨機応変にきりかえしていかなければならない。もちろん全ての日本人にこのような英語能力を身につけねばならないということはない。外国語をまなびたいというつよい **motivation** と能力をもった者には **communication skills** としての語学力を充分駆使できるようにすることは、国際化時代の英語教育のひとつの目標であるとおもう。

つぎにこの目標を達成するための適切な英語教授法の問題が当然のこととしておこってくる。J. V. Cook は母国語と外国語習得の過程をそれぞれ比較し、最近の教授法の多くはこの両者の類似性をもとにしてきたが一般にかんがえられている以上に両者はことなっているという。たとえば母国語の習得においては、子供は無数の文法的、あるいは非文法的な文に接し発話においても誤りをおかしながら成人の文法に近づいていくのに対して、外国語学習の場合は、教材としてあたえられた文は限定されており、学習者は新しい言語要素を既習のものに付加しながら学習し、初めから文法的に正しい文を作るように要求される。学習者が文法的に誤りをおかしても、それは **native competence** へ発展する一段階であるとかんがえられているなど、両者の相違点を **development, error, grading** の面から検討している。母国語でも、むずかしい特殊な専門書は、理解しにくいことは、日本語でも英語でも同じであるが、専門書は読めるのに一般的な小説や、新聞が読めない、ニュースを聞いても理解しにくいというのは、外国語であるからおこる現象である。小川芳男氏(前東京外国語大学学長)が日本では学習者にとって **natural method**, とか **thinking in English** ということは至難なことであるとしばしばいわれるのを聞いた

ことがあるが、母国語の習得過程と外国語としての英語の習得過程の相違をか  
んがえた時、当然のこととして理解できる。小川氏は英語教育の大切な留意  
点として Hombly がいつているように外国語の習得においては、Differences  
are not always difficulties であることを力説される。そして最近 contrast  
study の言葉を聞くが、日英語、日米語の相違というものの研究も 大事であ  
り、教師の側として心得ていることも大事であるが差は必ずしも困難点では  
ない。外国語の習得過程で大切なことは困難点を克服することである…といわ  
れる。(英語展望 No. 32 1971)

困難点およびその度合は communication skills の四つの領域で、学習者  
全部についてつうじる一般的なものと、学習者の英語学力に応じて個別的なも  
のとしてあらわれてくることが予想される。いずれの場合でも困難点の解決で  
注意しなければならないのは、従来のように経験がすべて優先するとかんがえ  
てはならないことである。英語教育は経験の集積でおこなわれるもので学問と  
して成立しえないようにかんがえられていた。しかし困難点を克服し効果的に  
英語教育をおこなうには、経験優先の姿勢からでて、心理学を始め諸科学との  
提携も必要であろうし、テストや調査によって客観的な資料をあつめる科学的  
研究も必要になってくるとおもう。

これまでよく指摘されてきたことに、recognition と production の両者  
における英語学力のアンバランスがある。これの原因のひとつとかんがえられ  
る英文法の運用面にあらわれた問題点について取りあげてみる。理論的には文  
法は学習者に英語の使い方の類推を助けるものであるが、実際には運用力にお  
いてあまり役に立っていないのではないであろうか。文法の再考をうながす資  
料として羽鳥博愛氏(東京学芸大学)の英語学力の相関関係についての研究調  
査を引用させていただく。(講座英語教授法 10巻)

英語学力相互の相関（ペーパーテストによる）

|      | 内容理解  | 部分訳   | 単語    | 和英    | 文法    | 発音    |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内容理解 |       | 0.357 | 0.350 | 0.270 | 0.220 | 0.120 |
| 部分訳  | 0.357 |       | 0.506 | 0.431 | 0.286 | 0.244 |
| 単語   | 0.350 | 0.506 |       | 0.359 | 0.283 | 0.583 |
| 和英   | 0.270 | 0.431 | 0.359 |       | 0.291 | 0.074 |
| 文法   | 0.220 | 0.286 | 0.283 | 0.291 |       | 0.290 |
| 発音   | 0.120 | 0.244 | 0.583 | 0.074 | 0.290 |       |

羽鳥氏は英語学力を自校の入学試験にもとづいて、

1. 内容理解 2. 部分訳 3. 単語  
4. 和文英訳 5. 文法 6. 発音

の6部門にわけ、この結果でえられた相関係数は平均してみると0.311である。そのうち前表からあまり高い相関があるとおもえないものとして

1. 和英と発音 (0.074) 2. 内容理解と発音 (0.120)  
3. 訳と発音 (0.244) 4. 内容理解と文法 (0.220)  
5. 訳と文法 (0.286) 6. 和英と文法 (0.291)

がある。同氏はさらに某短期大学英文科の学生を対象として、今度はふつうの授業を通じてみられる学力相互の関係を調査しつぎの結果を発表しておられる。

英語学力相互の相関（平常の成績による）

|      | 講読    | 文法    | 和文英訳  | 自由作文  | 会話    |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 講読   |       | 0.690 | 0.887 | 0.859 | 0.723 |
| 文法   | 0.690 |       | 0.851 | 0.713 | 0.423 |
| 和文英訳 | 0.887 | 0.851 |       | 0.893 | 0.647 |
| 自由作文 | 0.859 | 0.713 | 0.893 |       | 0.810 |
| 会話   | 0.723 | 0.423 | 0.649 | 0.810 |       |

上記の相関係数の平均は 0.749 である。上表から比較的相関の低いものを求めると

- |          |         |            |         |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. 会話と文法 | (0.423) | 2. 会話と和文英訳 | (0.647) |
| 3. 文法と講読 | (0.690) | 4. 文法と自由作文 | (0.713) |

であり、ここでも発音に関係ある会話とそれに文法が他の能力との相関の低いのが目につく。文法が実際の英語の運用力、すなわち内容理解、作文力、会話力などとあまり関係がないとすればこの性格についておおいに疑問をもたないわけにはいかない。「語学教育にあつては、文法は言語の運用の類推を助けるという立場にたつて、どのようなものをどのように教えるかを再検討すべきである。従来文法で教えていたものの中には、英語の運用を助けるという点ではあまり役立たないものも少なくなかつた。また当然教えるべきことで教えられていなかつたものもあつた。文法がその他の英語学力とあまり高い相関を示めさなかつたのもそのためである。」と羽鳥氏は述べていられる。

この事に関連して、「話すこと」の領域に学習者の文法的知識はどのように運用されているかに関して興味ある研究報告がある。これは長谷川潔氏（お茶の水女子大学）と羽田陽子氏（横浜市立外国語短期大学）の両氏による研究報告である。ITCの夏期講習に参加した大学生たちの会話表現のなかのつまづきを分析調査されたものである。（現代英語教育 11月号, 12月号 1969, 1月号 1970）

両氏は、学生たちの会話表現のなかのつまづきの原因として 1 母国語の影響, 2 修辭に関する無関心, 3 Japanese clichés の乱用, 4 文法的混乱の 4 つをあげていられる。尚枚挙にいとまない文法的混乱はつぎのように分類されている。

1. 冠詞の脱落, 数の誤り
2. 品詞の混同
3. 自動詞と他動詞の混同
4. 呼応の誤り
5. 前置詞, 副詞の誤り

## 6. 修飾語句の誤り

英会話には学校文法は不要であるという人が多い。しかしこのような口頭英語における表現力の不足は、中学校、高等学校時代に学んだ文法事項が知識としてのみとどまり、刺激、反応、強化の過程をえて、口答発表という行動にむすびついて定着していないからであろう。

ここで問題を **auditory comprehension** に返り、**listening** と **speaking** についてかんがえてみよう。**listening** と **speaking** の相関関係の高いことは誰でもみとめるところである。しかし厳密に言えば言語習得の過程にあっては、**listening** は **speaking** に先行するものであり、また **speaking** からはなれて単独にも存在しうるものである。音声面の指導にあたり、**listening** を先行させるか、**speaking** と並行させなければならない。

では「聞くこと」の指導の最終目標は何であろうか。勿論それは話された言葉を理解することであろう。しかし内容を理解するといっても相手のいうことがざっとわかればよいのであろうか。前後関係から判断してたぶんこういうことをいっているのであろうと考えることができればよいのであろうか。聞きとれたいいくつかの単語を自分なりにつづり合せて、ねらいをつけるのであろうか。言語の実際の運用面では、相手のいっていることを勘をはたらかせ、大体くみとって対話の流れをスムーズにおこなうことは必要であろう。しかしかたに勘にたよるといっても、勘の養成は、それ自体を目的としてえられるものではなく、言語の習得過程にあって、「完全に正確に聞くこと」の副産物としてうまれるものではないであろうか。

私たちは指導にあたり 100 パーセントを目指しても、成果はおうおうにして 80 パーセントあるいはそれ以下であることが多い。「聞くこと」の領域で正確さ、完全さをかき、文法の運用面での混乱がのぞかれていなければ、それはそのまま「話すこと」の領域にあらわれてくる。「聞くこと」が渋滞なくおこなわれるためには「聞くこと」の立場からみた文法、ある語句を聞くことによって前後を類推、予測する文法の運用力を養成しなければならない。

**auditory comprehension** を目標としている LL 学習にあっては、**dictation**

は上にのべた問題を解決するために有効な Lab-practice であるとおもう。

Dictationについて、Robert Lado と Nelson Brooks の両氏の見解はつぎのとおりである。

Dictation is favoured a number of teachers and students both as a teaching and a testing device. However, on critical inspection it appears to measure very little of language.

—by Robert Lado

Though it is a useful class exercise, dictation has important limitations, especially when used as a test. It is complicated and specialized, and it involves a kind of skill that is of little use outside the classroom. A dictation makes demands, at the same time, upon listening comprehension, phonemic discrimination, and knowledge of morphology, to say nothing of spelling, punctuation, arrangement, and other details of prime importance to a printer.

—by Nelson Brooks

ここで両氏の論を引用したのは、dictation が学習者の英語学力を測定するのに、信頼性、妥当性のある test であるかどうかにつき論議するためではない。両氏の意見は参考にしても 尚且 dictation は、「聞くこと」の領域における学習過程にあつて、有効な Lab-Practice になりうる利点をもっている。河野守夫氏（関西学院大学）は「音声教材利用上の問題点と対策」のなかである大学生の LLwork での dictation の一例をあげて、LLwork の残された問題を取りあげておられる。「つよい stress がおかれ、intonation の primary contour の開始点がかかるような big words は概して難解な単語でも正しく書けるが、ありふれたやさしい small words をまちがえる。そのような箇所は stress-timed rhythm のいわば谷間になって、異音、強形と弱形、接続の問題がからみあい、かなりの音声訓練を経てきた日本人の耳にも聞きなれない音の塊のようになって飛びこんでくる。…一口に日本人にとってむずかしいといっても原因はいろいろである。これらの現象に接するにつけ、従来の

LL による組織的発音指導が英語の音声現象のうち、すでに pattern 化された部分の指導だけに終わってしまっていて、その域をでていないのではないかと反省している。このような現象は学習者が自然に習得するのを待つとか、fill-in-practice や文強勢の数を一定にしておいて単語の数をふやしていく教材のような一率的な方法では解決しないとおもわれる。」(現代英語教育 4月 5月 1970)

dictation の作業過程には、大ざっぱに言って少なくともつぎのような因子がかかってくるであろう。

### 1. 聴覚による受容の過程

a. phonology の各要素。(分節音素, 音結合, かぶせ音)などの認知——意味をともしない。

b<sub>1</sub>. morphology, syntax, 各レベルにおけるすべての要素(形態素, 語, 連語, 文構造など)の認知, 了解——意味をともしなう。

c. a, b<sub>1</sub>の全要素がかかわる連合(association)の作用による概念の形成と保持。

### 2. 文字による再生の過程

b<sub>2</sub>. 維持された記憶にもとづいた受容内容の再構成——b<sub>1</sub>に対応

d. 正字法(または音声記号その他)による表出。

また dictation 「でなければ」できないこと, dictation 「であれば」できるきわめて有効とおもわれるものとして,

1. 明確な聴解力の養成

2. 記憶はばの増大

3. 基礎的, 正確な発表力の養成

4. 聴覚から視覚および筋肉行動へうつすことの効果

などがかんがえられる。

つぎに1970年4月より1971年1月まで LL work のひとつにとりあげてきた dictation と hearing test の誤答を分析し学習者の困難点についてのべることにする。



I. 研究対象：短期大学一年生（研究調査は継続中）

II. 研究方法：週二回（50分授業）の Lab-Practice の中で毎時間 dictation と hearing test をおこなう。テストは下記方法で誤りを訂正し正答とともに返却する。同時に前回の test-tape を聞かせまちがいの定着をふせぐ。

III. 授業の経過

- |  |         |
|--|---------|
| (1) Word Stress Drill                                  | 5 min.  |
| (2) Intonation Drill                                   | 10 min. |
| (3) Substitution Drill                                 | 20 min. |
| (4) Reading Practice                                   | 5 min.  |
| (5) Dictation or Hearing Test                          | 5 min.  |
| (6) Comments on the previous dictation or hearing test | 5 min.  |

IV. 訂正方法：

- (1) Mark  $\wedge$  indicates missed sound
- (2) Mark  $\sim$  indicates misunderstood sound
- (3) Mark  $\circ$  indicates misspelling

Example :

I have four feet,  $\wedge$  I am not  $\wedge$  kind of animale. You see me in your room and in your classroom...

Correct Answer:

I have four feet, but I am not a kind of animal. You see me in your room or in your classroom.

V. 誤答分析

分析表 1 :

Missed Sounds

| 回数 | 語数 | 所要時間(秒) | 間違い総数 | 機能語 |     |     |     |     | 内容語        |        |      |    |     | その他 |    |
|----|----|---------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|--------|------|----|-----|-----|----|
|    |    |         |       | 冠詞  | 前置詞 | 代名詞 | 接続詞 | 助動詞 | 動詞<br>Be動詞 | 詞      |      | 副詞 | 形容詞 |     | 名詞 |
|    |    |         |       |     |     |     |     |     |            | Have動詞 | 一般動詞 |    |     |     |    |
| 1  | 53 | 24.6    | 37    | 31  | 2   | 3   |     |     |            |        | 1    |    |     |     |    |
| 2  | 35 | 24.1    | 7     |     |     | 1   |     | 1   | 1          |        | 1    | 2  | 1   |     |    |
| 3  | 47 | 25.0    | 51    | 3   | 1   | 9   | 26  |     | 7          |        | 1    | 4  |     |     |    |
| 4  | 74 | 35.2    | 40    | 14  | 14  | 2   | 2   | 2   | 1          |        | 1    | 4  |     |     |    |
| 5  | 45 | 29.2    | 14    |     | 2   | 4   |     |     | 4          |        | 1    | 2  | 1   |     |    |
| 6  | 56 | 28.9    | 5     | 3   |     |     |     |     |            |        |      | 1  |     | 1   |    |
| 7  | 57 | 38.3    | 23    | 2   | 10  | 2   |     |     |            |        |      | 6  | 3   |     |    |
| 8  | 41 | 22.8    | 14    | 10  | 4   |     |     |     |            |        |      |    |     |     |    |
| 9  | 43 | 20.7    | 11    | 8   |     |     | 1   |     | 1          |        |      |    |     | 1   |    |
| 10 | 53 | 27.5    | 7     |     |     | 1   |     |     |            |        |      | 1  |     | 2   | 3  |
| 11 | 47 | 25.2    | 32    | 27  |     |     |     |     |            |        |      | 3  | 2   |     |    |
| 12 | 72 | 40.1    | 29    | 5   | 4   | 7   | 1   |     |            |        |      | 12 |     |     |    |
| 13 | 45 | 26.7    | 27    | 10  | 10  |     |     |     | 7          |        |      |    |     |     |    |
| 14 | 71 | 45.9    | 25    | 9   | 8   | 1   |     |     | 2          |        | 1    | 3  |     | 1   |    |
| 15 | 34 | 22.6    | 15    | 1   |     | 8   | 1   | 1   | 4          |        |      |    |     |     |    |
| 16 | 41 | 25.5    | 60    | 41  | 3   | 10  |     |     | 2          | 1      |      | 3  |     |     |    |
| 17 | 36 | 18.0    | 20    | 14  | 5   | 1   |     |     |            |        |      |    |     |     |    |
| 18 | 49 | 28.0    | 15    | 4   | 2   | 4   |     |     | 1          |        | 2    | 2  |     |     |    |
| 19 | 42 | 24.7    | 28    | 2   | 20  | 2   | 4   |     |            |        |      |    |     |     |    |
| 20 | 46 | 29.1    | 6     |     | 1   | 1   | 3   |     |            |        |      | 1  |     |     |    |
|    |    | 計       | 466   | 184 | 86  | 56  | 38  | 4   | 30         | 1      | 7    | 45 | 7   | 5   | 3  |

分析表 2 :

## Misunderstood Sounds

| 回数 | 語数 | 所要時間(秒) | 間違ひ総数 | 機能語 |     |     |     |     | 内容語  |        |      |     |     |    |     | その他 |     |
|----|----|---------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|------|-----|-----|----|-----|-----|-----|
|    |    |         |       | 冠詞  | 前置詞 | 代名詞 | 接続詞 | 助動詞 | 動詞   |        |      | 副詞  | 形容詞 | 名詞 |     |     |     |
|    |    |         |       |     |     |     |     |     | Be動詞 | Have動詞 | 一般動詞 |     |     | 1  | 2   |     |     |
|    |    |         |       |     |     |     |     |     |      |        | 1    |     |     |    |     |     | 2   |
| 1  | 53 | 24.6    | 54    | 11  | 9   | 15  |     |     | 3    |        |      |     | 10  |    | 3   | 3   |     |
| 2  | 35 | 24.1    | 46    | 20  |     | 4   |     |     |      |        |      |     |     |    | 22  |     |     |
| 3  | 47 | 25.0    | 105   |     |     | 3   | 12  |     | 4    |        | 4    |     |     |    |     |     | *82 |
| 4  | 74 | 35.2    | 97    | 35  | 7   |     | 4   | 11  | 7    |        | 13   |     | 7   |    | 13  |     |     |
| 5  | 45 | 29.4    | 152   |     |     | 32  | 16  |     |      |        | 36   | 26  |     |    | 28  | 14  |     |
| 6  | 56 | 28.9    | 215   | 5   | 3   |     | 1   |     |      |        | 59   | *40 | 16  |    | 10  | *81 |     |
| 7  | 57 | 38.3    | 76    |     |     | 6   | 16  |     | 3    |        |      | 7   | 22  | 10 | 7   | 5   |     |
| 8  | 41 | 22.8    | 139   |     | 22  | 26  |     |     |      |        |      | 16  |     | 25 | 50  |     |     |
| 9  | 43 | 20.7    | 70    | 29  | 6   |     | 5   |     |      |        | 10   | 5   |     | 1  |     | 14  |     |
| 10 | 53 | 27.5    | 48    | 4   |     | 1   |     |     |      | 20     | 4    |     | 4   | 13 |     |     | 2   |
| 11 | 47 | 25.2    | 43    | 9   |     |     | 1   |     |      |        |      | 4   |     | 13 | 15  | 1   |     |
| 12 | 72 | 40.1    | 125   | 4   |     |     |     |     | 1    |        | *95  | 9   |     | 11 |     | 5   |     |
| 13 | 45 | 26.7    | 76    | 14  | 1   | 1   | 2   | 1   | 11   |        |      | 7   | 10  |    | 18  | 11  |     |
| 14 | 71 | 45.9    | 82    | 4   | 22  | 5   |     |     |      |        |      | 16  | 5   | 1  | 21  | 2   | 6   |
| 15 | 34 | 22.6    | 25    | 3   |     |     |     |     | 1    |        |      | 6   | 1   | 4  |     | 3   | 7   |
| 16 | 41 | 25.5    | 78    | 3   | 11  | 1   | 7   |     | 10   | 9      | 4    | 7   | 1   | 5  |     | 11  | 9   |
| 17 | 36 | 18.0    | 18    |     | 3   |     | 1   |     | 5    |        |      |     |     | 2  |     | 7   |     |
| 18 | 49 | 28.0    | 40    |     |     | 4   |     |     |      |        | 6    | *28 | 2   |    |     |     |     |
| 19 | 42 | 24.7    | 131   | 12  | 7   |     | 6   |     |      |        | 23   |     |     |    |     | *48 | *35 |
| 20 | 46 | 29.1    | 100   | 11  | 5   | *58 | 1   |     |      |        | 8    | 10  |     |    |     | 7   |     |
| 計  |    |         | 1720  | 164 | 96  | 156 | 72  | 12  | 45   | 29     | 258  | 185 | 78  | 85 | 187 | 212 | 141 |

注 (1)一般動詞 1 は動詞の時制に関する誤り(2)名詞 1 は名詞の数に関する誤り  
 (3)\*印は14頁~18頁の各 dictation の中に、その誤りのあった語を同じ\*印でしめしている。

分析表 3 : 機能語について missed sounds と misunderstood sounds  
の比較対照

| 機 能 語  |  |
|--|--|
| missed sounds  | misunderstood sounds                                     |
| a. 冠詞の脱落<br>b. 前置詞の脱落<br>c. 代名詞(特に人称代名詞)の脱落<br>d. 接続詞の脱落 | a. 冠詞の混同<br>b. 前置詞の混同<br>c. 代名詞(特に人称代名詞)の混同<br>d. 接続詞の混同 |

分析表 4 : 内容語について missed sounds と misunderstood sounds  
の比較対照

| 内 容 語                   |  |
|-------------------------|--|
| missed sounds           | misunderstood sounds                                       |
| a. Be 動詞の脱落<br>b. 副詞の脱落 | a. 時制に関する誤り<br>b. 呼応の誤り<br>c. 形容詞, 副詞の誤り<br>d. イディオムの知識の不足 |

以上が1970年4月から1971年1月までに実施した dictation の結果である。missed sounds と misunderstood sounds の大部分は学習者が中学校・高等学校時代に習得した文法の知識を「聞くこと」の領域に実際に運用できればほとんど解決できるものである。冠詞の混同, 人称代名詞の混同, 時制に関する誤り, 呼応の誤りなどは, 文法の運用力の不足が原因であるようにおもえる。冠詞, 人称代名詞, 規則動詞の三単元の語尾の -s, 過去形, 過去分詞の語尾の -ed, 進行形, 受身形の Be 動詞, 完了形の has, have, 名詞の複数形の語尾の -s, -es, これらは聞きとれないほどよわく, はやく発音されているが, その前後には, これを予測, 類推させる語または語句がかなり明瞭に発音されている。しかもこれらの語または語句を, 学習者は聴取しているのである。「聞く」ための文法の問題がここにもあるようにおもう。

分析表2の dictation 3 と dictation 19のその他の項目に 83 と 35 という misunderstood sounds の数がある。これは 'look forward to+ing form' を聞きまちがえたもので、二回目にはその数が半分以下に減少している。'look forward to+ing form' は中学校の教科書にでてくる語句である。reading のさいに学習者はおそらくさほどの困難を二つ語句にかんじないとおもうが、これが耳からはいつてくるときには、聞きなれない音のかたまりのように聞こえるのである。しかし二回目に耳にしたときは、以前の誤りの半数以上が減少し、正確に聞きとっている。このことはほんの1例ではあるが音声による言語の習得方法が定着に効果的であることをしめしている。

#### VI. Hearing Test の誤答分析

dictation とともに実施した hearing test の結果を分析したところ、そのつまづきの原因としてつぎの5項目があげられる。

- 1 英語を母国語とする国民の文化的背景の基礎的知識の不足
- 2 同意語の知識の不足
- 3 イディオムの知識の不足
- 4 規則動詞の過去形の語尾 -ed のききとりの困難
- 5 complex sentence, compound sentence をふくむ比較的長いパラグラフの内容をききながしながら速解することの困難

dictation と hearing test の二種類の LLwork において、学習者の態度におおざっぱにいつてつぎのような差異があった。前者では非常に緊張して一語一句をききもらさないようにしようとする努力、文法的知識を十分に活用するための注意力の集中など、後者では幾分くつろいで、内容をたのしみつつききとろうとする余裕があり、内容語をききとることに注意力を集中して、ききとられた語または語句の範囲で勘をはたらかせ全体の内容を類推しようとする意図がうかがえた。しかしいつれの場合においても、学習者が二種類の drill にとりくむ態度はとても意欲的であり、英語を耳から理解することの喜び、学習者が自分の困難点をしり、次回でこれを克復したときの喜びは、想像をこえるほどおおいものであった。最後に実施した dictation と hearing test

とその困難点の具体的諸例を付加して稿をおわることにする。これは数カ月の間に LLwork のひとつとしてとりあげた dictation と hearing test の結果を分析調査をしたささやかな実践報告である。(一部は語学ラボラトリー学会誌10文号1970年に発表) 今後とりくむべき諸問題がいくつも山積しているが斯界の諸先生の御叱責、御鞭撻をいただければとおねがいする次第である。

#### VII. Dictation No. 1 to No. 20 with errors:

注 (1) 下線の語は missed sounds.

(2) ( ) のなかの語は misunderstood sounds.

1. I live in the (a) country, and there is (are) a (the) large garden round my house. I have a lot of bees (beans) in this garden, and they make honey for me. It is very good honey, because there (they) are a lot of flowers in my garden, and the bees make their honey from these (the, their) flowers (flower).

2. What is your favorite sport (sports)? Some of you may say, "It is pingpong" Indeed, pingpong is a very interesting sport (sports). But I am sure that most boys (boy) love baseball. What an interesting sport (sports) baseball is!

3. I was very glad to have a letter from you, and to know that (but) you and your wife are keeping well and (but) busy. I'm glad, too, that (but, and) you are both coming (come in) to England again this summer. My wife and I look forward to seeing (\*look for to see, look for with) you and Rosa.

4. Tom Brown is a hard worker at school, and his parents hope that he will (would, is, was) do well in his examination in the (a) summer, so that he can go up to (at, after) university next October. He says(said) he will (was, would) do his best. But he cannot work all the time, so once or (once at) twice a week, when he is (was, will) tired of (with) work, he goes (go) out with his friend. They

usually go (goes) to the theater or the movies (movie).

5. As everybody knows (know) the most popular sport (sports) in America is baseball. American boys, sometimes girls, begin to play baseball when they are only five or six years old (all). They continue (continued) to play till (to) they (their) become men (man). When they are grown up (grow out, growing) their (they are, there) interest (interesting) often continues. (continued)

6. When I was a boy I liked (like) swimming very much. One year my two brothers and I spent (spend) the (a) summer holidays (holiday) with my uncle and aunt in their (there) house by the sea. It was only twenty yards (\*years, yard) from the water. Every day after (at the) breakfast, we ran (\*run, learn) across (cross, close) the (a) \*sand (sun, sound, same) down to the sea, and jumped (jump) in.

7. Winter is a very hard season for birds (bird) in England. Most of them are silent in this season. Often it is not easy for them to find (fly) food (foods). At night the birds (bird) sleep among (along) the bushes (busy) or (for, all, whole ) in some quiet corner. They sit (set, sick, slept) close together (closed at, up) to keep warm. They are eagerly (usually, regularly) waiting (wait, eating) for the return (returned) of spring (the spring).

8. The earth that we live on is only one of the many worlds (world, words) that (but, the) fly (fry, try, play) through (to) space. If we want to understand our own (along, alone, around) world, we must learn about the world (worlds, words) in the sky, which we can see but cannot visit (visit it).

9. It is so cold on high mountains that (but) all water is frozen (closing). If a (the) traveller needs (need) any water to drink or for cooking, (for a) he must put (the) snow in a (the) pot (pack, part),

and put the pot on (in) a fire and make the snow into water.

10. Thank you for your letter. I am sorry (fine) I have not written to you sooner. There has (have) been no time because many things (thing) have (has, had) happened (happen) of late. You will see by the new address that we have (had, has) moved house. I spent all last weekend carrying things (hearing thing) from our old house to our new one.

11. When a (our, I was) student from a warm (own, out) country, comes to England in the autumn for the first time, he feels (fells) cold at first. There are often dark (those, dirt) clouds, gray skies and a (the) cold rain (raining) in England in autumn, and most students(student)from warm(own)countries(country)do not like this.

12. It rained (\*rains, rain) heavily all morning. The rain stopped (\*start, stop) about two o'clock and I went out for a walk (work). There was (were) a cold wind blowing, so I put on my heaviest and warmest coat (cost). As I was walking (working) along the street (a long street, around the street) the wind blew my hat (hurt, heart) off. I ran (run) after it. The (though) wind carried it (carry out) into the road, and I ran out (run and) to get it. I was almost knocked (\*knock, not) down by a car.

13. That winter a (of, are, were) very heavy snowstorm strack our (out) town. The snow was (were) so deep on the streets (street) that (but) no buses were (is, on) running. No one in this town could (couldn't) go to work (walk) that day (then, way). I have never known so heavy a (are) snowstorm as that (at that, about) since then (in spring, spring, them).

14. All (old) people (peoples) who drive cars (car) must watch very carefully when they drive. You must never drive above (about)



twenty five miles an hour in the city. On holidays (holiday) you must be very careful because there (that, they) are so many cars (car) on the road. (roads). When there (that) is a (the) school bus in front of you (view), you must not pass (past, fast). Keep the doors (door) shut (shout, shot) when you are driving (drive in). Always stay on your (near) side of (on) the road.

15. Suddenly (certainly) he noticed (know) that the sun was (were) setting in the (a) west, and that it was getting dark (down). “Mother will be waiting for me”, he said to himself, and he began (begin) to run towards (run to it, run to our, run to the, turn to the) home.

16. He saw (thought) that there were (was) several passengers waiting at (walking up, waiting with him) the station. But though he looked (look) at (up) them all (on) with care, he didn't know any of them, for (who) he had (has) not met (meet) either Henry or Robert, who were (are) among (a man) the (a) small crowd (cloud, crowded).

17. We cannot see all the stars (star, skies, starts) at one time because half (part) of them are (or) below the horizon, and also (all so) part of them are low in the sky where (wear) only the brightest (bright, bright sight) of (on, only) them can be (been) seen (seeing).

18. If you do not use your (you) arms or your legs for some time (sometimes), they become weak; when you start using them again, they slowly become strong again. Everybody knows this, yet (yes) there are many people who do not seem (\*seen, see, seek) to know that your (you are, you) memory works (work) in the (that) same way.

19. Christmas is a (the) time of joy and (in) happiness. People forget (forgets) sadness and try (tried) to show kindness to (for) everyone. Children look forward to (\*look for, look forward, look for at) Christmas for many weeks. The warmth (\*warm, warmful, worth) and friendship of Christmas help (helps) us to forget the darkness and (to, of) cold of (for, in) winter.

20. My small brother's hobby is watching trains (train, plane, playing). He goes to our (\*toward) (a, at) station, and watches (watching) them there. When an (a, the) engine goes (go) through (to out) the station, he writes (write, likes) down its (\*it's, it) name and (or) number. I went to the station with him one day, but to me watching trains (train, plane) wasn't interesting (interest).

#### VIII. Hearing Test No1 to No. 10

注 (1) ○じるしの各問題は誤答の集中したことを示めす。

注 (2) ( ) 内の数字は誤答のパーセントを示めす。

1. She brought her five children from Italy to a village in the west of North America, where her husband was already working as a carpenter. After sailing for nineteen days and then travelling by train for six days, they at last arrived at their new home. It was a poor house. She at once began to work on the land around the house, and was soon getting enough food for the family. She often made the children work very hard, but they were glad to do so, because they learned that in this new place work made their life easier.

(51. 8 seconds)

Choose the Correct Answer:

- ①. Who brought those five children to North America? (40%)
2. Where did they come to live?
- ③. How did they travel in America? (20.5%)

4. Did the children work?

5. What did the children learn?

2. One morning, Father and I got up very early. We were going to the Blue Lake. "Hurry up and get ready, Jim." said Father. "It takes two hours to go to the lake on foot."

Taking a basket of lunch, we started and kept on walking until we came to the lake. When we arrived there, we began fishing at once. We caught one fish after another.

By and by Father said, "It is noon. Let's eat lunch." "How do you know that?" I asked. "I did not see you look at your watch." "The sun tells me," said Father. "When it is shining just above our heads, it is twelve o'clock and time to have lunch." I laughed and said, "I know it is noon because I am hungry."

(1 minute and 14. 8 seconds)

Choose the Correct Answer:

1. Did Jim get up early?

2. How long does it take to go to the lake on foot?

③. Did they catch many fish? (56.4%)

4. What told Jim's father the time?

5. How did Jim know the time?

3. Mr. Jones once lived in New York and worked as hard as he could. Now he is rich and lives in my village. He is fond of taking a walk before breakfast. He has four sons and one daughter, and the youngest of his children is Fred. Fred is my best friend. I often visit him. I can arrive at his house in a quarter of an hour. When it is fine, we play in the garden. We sit on the bench and talk about great men of the world. Sometimes Fred's mother comes to us with something to eat or drink. (53.5 seconds)

True or False?:

- ①. Mr. Jones lived in New York and worked very hard. (35%)
2. He now lives in my village.
3. He takes a walk before breakfast.
- ④. He has five children. (17.2%)
5. I can reach his house in thirty minutes.
6. Fred's mother always brings something to eat or drink.
7. While we play in the garden, we sit on the grass and talk about great men of the world.

4. There was once a very poor man who lived with his wife in a poor little house. Every day when he was in the forest he said to himself: "Oh dear, I am so unhappy! I am poor, and I have to work so hard all day long. My wife is hungry and I am hungry, too.

Oh, I am very unhappy indeed!"

At that moment a beautiful fairy appeared before him. She said to him, "My poor man, I have heard everything that you have just said. I am very sorry for you and would like to help you.

(1 minute and 1 second)

True or False?:

1. A very poor man lived with his wife in a poor little house.
2. He sometimes went into the forest to cut wood.
3. He thought that he was happy at home.
4. He had to work all day long.
- ⑤. A beautiful fairy came to him. (24.7%)
- ⑥. She didn't know what to do for him. (21%)
7. She was sorry for him.
- ⑧. She said she would like to make him rich (21.2%)

5. Tom Smith is an engineer. He works in a factory which makes bicycles. He has been at this factory for a year; before he came to the factory he was studying engineering at the University of London. He does his work well, and one day he is going to be the manager of a big factory—at least, he hopes so, and his parents hope so, too. The factory is a long, low building between the road and the railway about five miles from Bishopton. It was built about ten years ago.

There are a lot of people working in the factory, and many of them live in the nearby towns and villages. It is always noisy in the factory, but the workers soon get used to the noise.

(1 minute and 9.7 seconds)

Choose the Correct Answer:

1. What is Tom Smith?
2. How long has he been in the factory?
- ③. Where is the factory building? (25%)
4. How old is the building?
- ⑤. Where do many of the workers live? (48%)

6. London is full of people from all parts of the world during the summer. I've often stopped people in the street to ask the way and have found that they, like me, are not Londoners. Now, if I want help, I ask a policeman. The London policemen are always ready to help. Most of them are tall and good-looking men.

Everybody here is very kind to me, but there are times when I think of home and am rather sad. English people do not talk as much as we do. I've often travelled by train and nobody has spoken to me during the journey. (49.8 seconds)

Choose the Correct Answer:

1. During what season is London full of people from all parts of the world?

②. What have I found when I stopped people in the street to ask the way? (37.6%)

③. How do London policemen look? (33.1%)

④. Why has nobody spoken to me in the train? (27.1%)

7. My hobby is collecting stamps. When I was still only a baby, my mother began to collect for me. Of course, she did not let me touch the stamps until I was old enough. I remember that it was on my fifteenth birthday that she first put them into my hands. They were in four fat books, but since that time I have added two more, so that now I have a bigger collection than any of my friends. But I have never bought a single one from a shop. My father who works in a big office, sometimes brings me stamps from many countries of the world. And I have friends here and in other lands who send me stamps. I send some stamps to them, too.

(1 minute and 38.2 seconds)

Choose the Correct Answer:

1. Who began collecting stamps for me?

2. How old was I when got the stamps?

③. How many books of stamps do I have now? (63.6%)

4. How do I get the stamps?

⑤. Where does my father work? (23.1%)

8. An old gentleman sat on a bench in the park enjoying the spring day. "What's the matter, boy?" he asked a small boy who lay on the grass and stared at him. "Why don't you go and play?" "I do not want to," the boy answered. The old gentleman said, "But it is not natural for a boy to be so quiet. Why don't you want to?" "Oh,

I'm just waiting," the little boy answered. "I'm just waiting till you get up. A man painted that bench about fifteen minutes ago."

(46 seconds)

Choose the Correct Answer:

1. What was the old man doing?
- ②. Where was the boy lying? (20.7%)
3. What did the boy say, when the old man said, "Why don't you go and play?"
- ④. Why did the small boy stare at the man? (58.4%)

9. Charles Dickens was a great writer, who wrote a large number of books. He had a cat of which he was fond. One evening he was reading by a candle-light. Suddenly the light went out. He lighted the candle. As soon as he began to read, it went out once more. He said to himself, "I wonder why the light goes out so often." Lighting it again, he began reading; and stopped. This time he looked up just in time. He saw the cat was going to jump over the light. Then he knew that the cat did not want him to read. So began playing with her, and gave her some milk. (59.3 seconds)

True or False?:

1. Charles Dickens was a writer.
- ②. One evening he was writing by a candle-light. (17.4%)
3. The light went out when he was out of the room.
4. Charles Dickens found that the cat had put out the light.
- ⑤. Charles Dickens looked up just in time to light the candle. (34.8%)
6. The cat did not want Charles Dickens to read.
- ⑦. Charles Dickens played with the cat. (18.6%)
10. George is a high school student. It takes a little more than

an hour to go from home to school, so every morning George has to get up about 5:30.

After breakfast he looks for his books. His mother usually has to tell him where they are because he is too sleepy to remember where they are. He thinks it would be wonderful to live nearer to the school and then he could sleep longer in the morning.

After riding the train for an hour and walking for ten minutes, George arrives at his school. Before his first class begins, he always says to himself, "I wish I had studied last night. I was a lazy boy. I just watched television." (1 minute and 4.7 seconds)

Answer in English:

1. What time does George get up every morning?
2. What does he look for after breakfast?
- ③. Where does he want to live? (34.2%)
- ④. How long does he ride the train? (32.8%)
5. Does he study hard every night?"



参 考 書 目

Nelson Brooks, Language and Language Learning

Robert Lado, Linguistic Science Language

A Journal of Applied Linguistic: Special Issue No.3 1968,

Problems in Foreign Language Testing

山家保編, Applied Linguistic and the Teaching of English.

現代英語教育講座 研究社

1 卷 英語教育論 2 卷 英語教授法

7 卷 日英語の比較 11 卷 視聴覚教室

講座・英語教授法 研究社

4 卷 聞き、話す領域の指導 石井正之助

9 卷 評価と測定 稲村松雄

10 卷 英語学習の心理 羽鳥博愛

11 卷 視聴覚教具の活用 羽鳥博愛

現代英語教育

1 月号 3 月号 4 月号 5 月号 10 月号 1970 年

11 月号 12 月号 1969 年

1 月号 1971 年

英語教育

9 月号 1969 年

英語展望 ELEC Bulletin

31 号 1970 年 32 号 1971 年

英語教育評論

第 4 卷 第 2 号 7 月号